



話し合いで思考を深める子どもたち

今年度、全国学力・学習状況調査の質問紙を実施したところ、市内小・中学校ともに、数値が向上した項目がいくつもありました。その中で「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりできていると思う児童生徒の割合」は、昨年度を上回る結果となりました。

『話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりできていると思う児童生徒の割合』

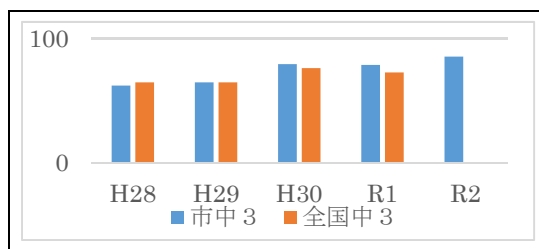
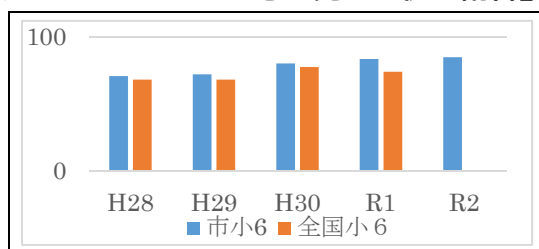
	H28	H29	H30	R1	R2
市小6	70.9	72.2	80.3	83.6	84.9
全国小6	68.3	68.2	77.7	74.1	

※数値は%です。

※令和2年度全国平均値はありません。

	H28	H29	H30	R1	R2
市中3	62.2	64.8	79.5	78.8	85.6
全国中3	64.8	64.8	76.3	72.8	

※10月実施。対象は市内全ての小6と中3。



コロナ禍で昨年度以上に話し合う活動ができない

状況であったことと思いますが、それでも子どもたちは実感として、「話し合いで思考が深まった。」と感じています。年々この割合は高まってきています。こうした子どもの事実からは、次のような授業の様子が見えてきます。

- ◆子どもは、他者の考えを「聴く」ことを大切にしたい学びを重ね、思考を深めている。
- ◆子どもは、他者の考えを聴き、話し合いや対話の中で自分の考えの変容を実感している。
- ◆子どもは、他者の考えと「比較」「分類」「関連付け」することで、自分の思考が深まったり広がったりする事を体験的に学んでおり、協働的に学ぶ良さや価値を実感している。
- ◆教師は、授業のねらいに応じて目的ある話し合いや対話の場を適宜設け、「どのように学んだか」等、自分の学び方を振り返る活動を大事にした授業づくりをしている。

様々な教科学習で、コミュニケーション能力を発揮し、人との関わりを通して自分の考えを創ったり、思考を深めたりしている子どもたち。コロナ禍で困難な状況が続きますが、子どもたちの『声』を励みに、さらに子どもが思考を深める授業づくりが進んでいくことでしょう。

～豊岡市学力向上検討委員会国語部会で作成中～

現在、豊岡市学力向上委員会国語部会で「めざすコミュニケーション能力と活動例国語版」を作成中です。重点単元として学年1単元取り上げ、その活動例を示しています。通常の授業にコミュニケーション能力育成の視点を少し意識して指導することで、より豊かな教科本来の学びが展開されるのではないかと、期待しています。